



# CITY X UNIVERSITY

Vol.24  
May 2017

## CONTENTS

### ●P1 特集

# 新入生のみなさんへ

研究科長・学部長よりメッセージ

### ●P3 学修成果の質保証プログラム 始動!

### ●P4 さあ、授業が終わった! 市大ストレッチ

### OCU TOPICS

●P5 Research / 掛屋弘 教授 (医学研究科)・浅井 一久 講師 (医学研究科)

●P6 Education / 看護学研究科と看護部の人材交流プログラムを実施 ほか

●P7 Researchers / 上野雅由樹 准教授 (文学研究科)

早見直美 講師 (生活科学研究科)・岡崎和伸 准教授 (都市健康・スポーツ研究センター)

●P8 @ Campus

平成28年度「白衣授与式(4年生対象)」を開催  
ほか

●P10 大学サポーターだより  
OCU INFORMATION



# 新入生のみなさんへ

研究科長・学部長よりメッセージ



## 【知的好奇心】

今社会では何が起きているのか、何がビジネスの課題になっているのか、に関心を持ちましょう。そして自分で調べて自分で考える。たくさんの知識と経験の「引き出し」を作って、自分の考え方、判断力を身に付けましょう。それがあなたの人間的な魅力(人間力)になります。

経営学研究科長  
商学部長

向山 敦夫

Atsuo Mukoyama



## 【学問の扉】

学問は、学びつつ問い続ける営みです。大学には、問いを投げかけると思いもかけない世界へと誘ってくれる扉があります。それは教員と学友です。経済学部には、教員や学友と問答をすることのできる演習科目が豊富に用意されています。扉を叩いて問いを発する勇気をもってください。

経済学研究科長  
経済学部長

中村 健吾

Kengo Nakamura



## 【挑戦】

イギリスの国民投票やアメリカの大統領選挙に見られるように、民主主義体制においてどのようにして政治的決断をしたり、国の代表者を決定すべきなのか問われています。他方、アメリカでは裁判所の役割が改めて注目されています。法と政治に関わるさまざまな問題を一緒に勉強しましょう。

法学研究科長  
法学部長

勝田 卓也

Takuya Katsuta



## 【叡智】

社会や技術がめまぐるしく変化し、未来予想が難しい現代。だからこそ人間の行動や集団のあり方、思想やコミュニケーションを根源までさかのぼって探究する学問が求められています。文学部で、本質をとらえる力(ソフィア)を身につけ、人生の一階梯を軽やかに上ってください。

文学研究科長  
文学部長

仁木 宏

Hiroshi Niki



## 【基礎】

最先端の研究をするにはまず基礎が大切です。足場を固めなければ大事は成せません。まず基礎をしっかり学びましょう。その上で知識を積み上げ、そしてその知識を有効に活用する知恵を身に付け、最先端まで一気に駆け上がります。大学ではあせらずしかしたゆまず、基礎を大切に。

理学研究科長  
理学部長

中沢 浩

Hiroshi Nakazawa



## 【人生設計】

諸君は今、人生最大級の高揚感に浸っていることと思う。そんな時に人生設計をしてみてもどうだろう。どんな人間になり、何をするのか、どんな職業を選択し、家族や社会とはどう関わるのか。色々夢を描いてはどうだろう。できれば書き留めておく方がよい。将来、厳しい現実と向き合った時も夢に向かって努力できるように。

工学研究科長  
工学部長

佐藤 嘉洋

Yoshihiro Sato



## 【自ら学ぶ】

大学時代は人生で一番、自由な時間があります。受験のためではない、今後の人生の糧となる勉強を自らしてください。経済、倫理、哲学、政治、文学、歴史などの幅広い教養を得てください。そうすれば、多くの人との交流が生まれ、将来に亘って深みのある人生を過ごすことができます。

医学研究科長  
医学部長

大畑 建治

Kenji Ohata



## 【個別性と多様性】

人間は、どのようなものごとに遭遇し、それをどのように意味づけ、どのように行為するのか。看護学は、人間の個別性と多様性への関心と適切な理解を前提とし、生活を支える実践科学です。仲間との出会いを大切に、その生き方や生活の仕方の中から、個別性と多様性を発見してみてください。

看護学研究科長

松田 光信

Mitsunobu Matsuda



## 【実践】

生活科学部では、実践的な実習科目がたくさん編まれています。基礎となる座学を踏まえた上で、地域に根づく支援を行うことが地域の方々への貢献に繋がります。大阪という地域を舞台に実学を身につけ、みなさんがさらに飛躍されることを、心より願っています。

生活科学研究科長  
生活科学部長

永村 一雄

Kazuo Emura



## 【共存】

18歳で学部に入學する方もいれば、70歳以上で社会人大学院に入學される方もいる。30年以上前には極めて例外的だったことが、今や当たり前のことになっています。互いの相違を積極的に認め合い、触発されることで自身の中に生じる変化を楽しみながら大学生活を過ごしてください。

創造都市研究科長

有賀 敏之

Toshiyuki Aruga





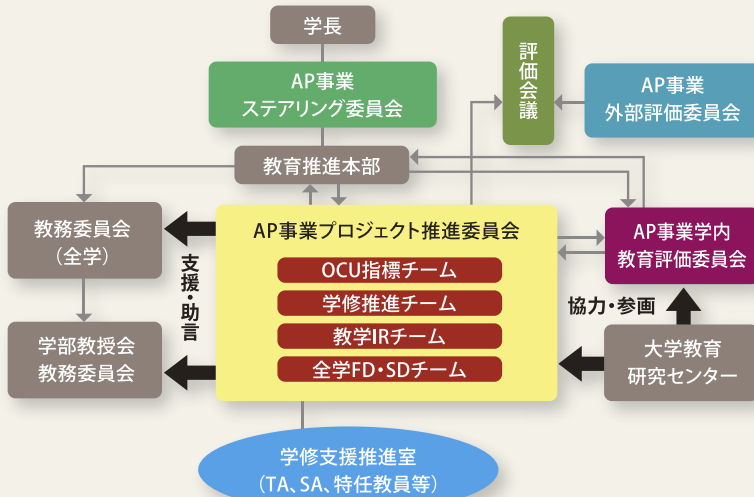
# 学修成果の質保証プログラム 始動!



平成28年度に文部科学省の大学教育再生加速プログラム(AP)「高大接続改革推進事業」に採択されたことに伴い、本学では、「テーマV:学修成果の質保証の取組の強化」として、学生が卒業段階でどれだけ力を身に付けたのかを客観的に評価する仕組みや、その成果をより目に見える形で社会に提示するための効果的な手法等を開発し、事業を推進しています。

## 大阪市立大学AP事業の体制と取り組み

プロジェクト推進委員会を設置し、4つのチームで事業を推進します。



### OCU指標チーム

「OCU指標」の算出やレーダーチャート等を作成するシステムを構築

### 学修推進チーム

学修相談の体系化、TA(ティーチングアシスタント)・SA(スチューデントアシスタント)等の養成、アクティブラーニング型教育・学修の推進など、「学修支援推進室」の企画・運営

### 教学IRチーム

学生、卒業生、教員調査の企画・運営および分析結果の集約と周知

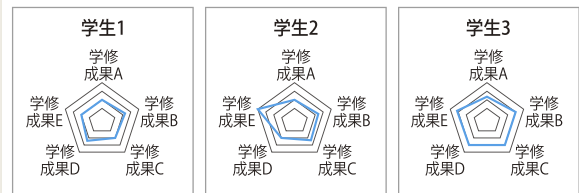
### 全学FD・SDチーム

FD(ファカルティ・ディベロップメント)・SD(スタッフ・ディベロップメント)事業の企画・運営

## OCU指標 ~本学での学修成果を見える化します!~

本学学生が卒業時の学修成果(=学位水準)として求められる多様な要素(知識・能力・スキル・態度等)をどの程度身に付けたかを表した総合的指標です。学生自身のみならず、教職員や学外者にも視覚的に分かりやすい形で示すことができます。「OCU指標」と卒業生調査・企業調査・学生調査などの間接指標を用いて総合的に学修状況の点検を行い、卒業時点での学修成果全体の総合的把握が可能となるスキームを構築することで、学位の質保証・点検のPDCAのサイクルと体制を構築していきます。

### 〈OCU指標(総合化指標)のイメージ例〉

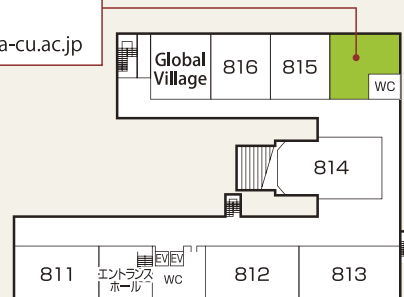


学生ごとのOCU指標のレーダーチャート(総合化・視覚化)

## 学修支援推進室 / OCUラーニングセンター ~能動的学修と教育を支援します!~

学生の自主的・能動的な学修と、それを促す教育のサポートを目的として開設。専属スタッフが、学修状況の振り返りや学修目標設定についての指導・支援を行います。「どの科目を履修すべきか分からない」、「授業内容が難しくついていけない」など、学生のさまざまな悩みや質問も受け付けます。自習や授業準備のためのグループワークなどに利用できるスペースも併設していますので、気軽に立ち寄ってください。

場所: 全学共通教育棟 1階  
開室時間: 平日 9:00~18:00  
連絡先: 06-6605-2906  
E-mail: oculc-soudan@ado.osaka-cu.ac.jp



さあ、授業が終わった!

# 市大ストレッチ

～市大ストレッチとは?～

- 学生・教職員の健康増進のために考えられたストレッチ!
- 都市健康・スポーツ研究センター考案&監修!
- 授業後や会議後に、イスに座ったまま実施して、肩凝り解消・疲労回復!
- 動画には学生・教職員が総勢200名出演!

YouTube公開中!動画で詳しくCHECK! 



## 1 ペンギン肩ほぐし



目線はやや上向きに、首をすぼめるように両肩を挙げ、ストンと一気に下げます。

まずは、スマホを見たりノートをとることで外に広がった肩甲骨を上内側へ引き挙げ、元の位置に戻します。

## 2 ペリカン背中ほぐし



両手を腰に当てたまま、肩が痛くならない範囲でゆっくりと肘を前後に動かします。

胸と肩～背中を緩めます。

## 3 バンザイ肩甲骨ほぐし



バンザイの姿勢から、手のひらを耳の横まで下げます。

このとき、肘は体側より前に出ないように注意。凝り固まった肩甲骨を動かして肩こりを軽減!

## 6 マエケン体操



座位または立位で上体を伏せ、腕をできるだけ脱力しながら肘でクロールを描くように前に回します。

メジャーリーグで活躍中の日本人ピッチャーが行うことでおなじみのダイナミック(動的)ストレッチ。肩～腕全体をやわらかくします。

## 5 ニワトリ首伸ばし



座った姿勢から目線は前向きのまま、頭だけを前方へできるだけ遠くまで移動させます。

市大ストレッチ唯一のスタティック(静的)ストレッチ。首の後ろをじっくりと伸ばします。

## 4 ローイング前面伸ばし



手のひらを下に向けた「前にならえ」の姿勢から、左右の肩甲骨を中央に寄せるイメージで肘を引きます。

机に向かうと縮こまりがちな胸～腕の前面をストレッチして猫背を解消!

## 7 再・ペンギン肩ほぐし



仕上げに再び首すぼめ。最初にした時より肩がゴリゴリ言わなくなりましたか?

大学の授業時間は90分と長時間。猫背、ノートと目の距離が近いなど、どうしても姿勢が悪くなりがちです。何か対策はないかと思い考案しました。同じ授業や学科のメンバーでストレッチを行えば、一体感も生まれて心もほぐれること間違いなし!新たな環境で肩や背中をこわばらせている新入生には特にオススメです。みんなで「笑顔あふれる知と健康のグローバル拠点」である大阪市立大学の健康度をUPさせましょう!



都市健康・スポーツ研究センター  
横山久代 准教授



RESEARCH

## 世界初! 難診断深在性真菌症(ムーコル症)の早期診断法の開発に成功



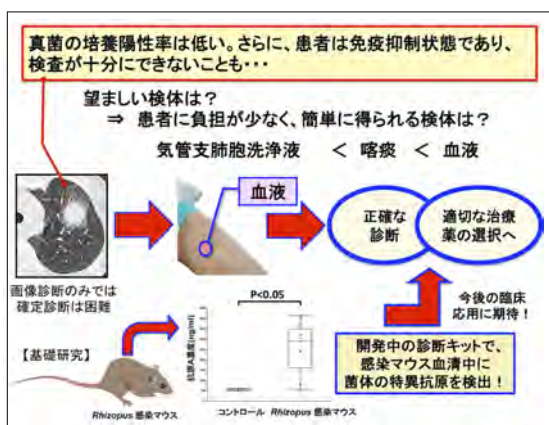
左から金子幸弘教授、掛屋弘教授

医学研究科 臨床感染制御学<sup>かけやひろし</sup>の掛屋弘教授、同細菌学<sup>かねこ ゆきひろ</sup>の金子幸弘教授らのグループは、国立感染症研究所・真菌部<sup>みやざきよしつぐ</sup>の宮崎義継部長らとの共同研究で、生命予後が極めて悪く、早期診断が難しい深在性真菌症であるムーコル症の早期診断法の開発に成功しました。

ムーコル症は、ムーコル目に属する真菌感染症の総称で、発生頻度はそれほど高くありませんが、発症すると急性に進行し大多数が死

に至るため、早期に診断し治療することが最重要視されています。しかし、特徴的な臨床症状に乏しく、実用化された血清診断法がないため、確定診断には真菌の培養や病理組織検査が必要であるというのが現状でした。そこで本研究グループは、ムーコル症を引き起こす代表的な真菌であるRhizopus oryzae(リゾプス・オリゼ)の菌体蛋白に注目し、細胞外に分泌される蛋白や細胞膜に共通して存在するアミノ酸配列を有する蛋白を選択的に同定する「シグナルシークエンス・トラップ法」を用いて候補抗原を選出し、血液検査で抗原(菌体の一部)を検出する方法を開発しました。

本検査方法は世界で初めて開発された「ムーコル症の血清診断法」です。また、本研究に使用した「シグナルシークエンス・トラップ法」が真菌研究においても新しい抗原を探すことに有用であることを明らかにしました。本研究成果は、国際学術誌「Medical Mycology」にオンライン掲載されました。



ムーコル早期診断の概要図

## 身体活動性の維持・改善がCOPDの予防・治療に寄与する可能性を示唆

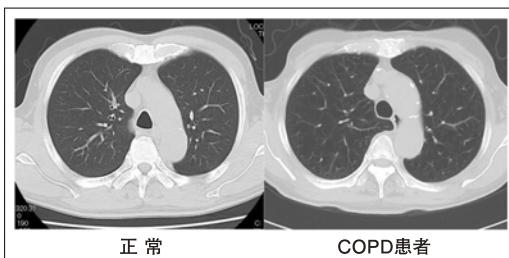


浅井一久講師

医学研究科 呼吸器内科学<sup>あさい かずひろ</sup>の浅井一久講師、平田一人教授<sup>ひらた かずと</sup>らのグループは、身体活動性と関連のある筋肉由来タンパクであるマイオカインと慢性閉塞性肺疾患(Chronic Obstructive Pulmonary Disease; COPD)の病理学的変化である気腫化との関連性を明らかにしました。COPDは主にタバコ煙吸入により生じる慢性の肺疾患で、日本における患者数は500万人以上、死因としては第10位となっており、病態の解明、治療法の開発が望まれています。

本研究グループは、本学医学部附属病院に入院中の40名のCOPD患者を対象とし、筋肉由来のマイオカインの一種であるアイリシンのCOPD病態に与える影響を解明することを目的として、血中アイリシン濃度と肺機能検査、胸部コンピュータ断層撮影法(CT)を測定。その結果、血中アイリシン濃度は身体活動性と相関を示し、胸部CT上の低吸収域(気腫化)は、血中アイリシン濃度と強く逆相関していることが明らかになりました。また、気腫化

の原因の一つであるタバコ煙による肺胞上皮細胞のアポトーシス(細胞死)がアイリシンにより抑制されることを見出しました。この結果は、アイリシンの気腫化からの肺保護作用を世界で初めて明らかにするとともに、COPDの治療薬である気管支拡張薬やリハビリテーションによる身体活動性の維持・改善が、アイリシンを介してCOPDの予防・治療に寄与する可能性を示した重要な成果であると考えられます。本研究成果は、国際学術誌「International Journal of Chronic Obstructive Pulmonary Disease」にオンライン掲載されました。



胸部CT画像

### 研究者 クローズアップ



医学研究科 掛屋弘 教授

掛屋教授は医学部に臨床感染制御学が新設された2013年4月に着任。家族と離れ、単身赴任で長崎から大阪へ。月に1度は長崎の自宅に帰り、愛犬のゴールデンレトリバーと散歩することが癒しだとか。「感染制御の文化を創る」を目標に、附属病院内の感染症の発症予防に努めています。「文化は一朝一夕には完成しません。文化を創造するには臨床と教育・研究の足元をしっかりと固めていくことが重要です」と熱く語る掛屋教授でした。

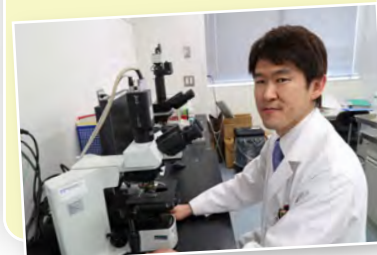


### 研究者 クローズアップ



医学研究科 浅井一久 講師

趣味は「ミニカーを集めること」と楽しそうに語る浅井講師。自宅の本棚には医学書以外にミニカーがズラリと並んでいるとのこと。そんな浅井講師にはユニークな習慣が。それは、毎日最低1本はコーラを飲むこと。この習慣が定着したのは、カナダ留学中にミネラルウォーターよりもコーラの方が安く買えたからだそうです。「ただし、健康のことを考え、カロリーゼロのコーラを飲むようにしています」と教えてくれました。



## 看護学研究科と看護部の人材交流プログラムを実施

看護学研究科と医学部附属病院看護部は、看護部に看護教育・研究研修センターを設立。看護基礎教育と臨床看護実践の円滑な連携と向上を目的として、平成27年度から人材交流を行っています。この取り組みは看護部に軸足を置きながら単位認定者業務を担い、研究・教育実践を幅広く研修するという全国でも珍しい画期的な実践教育研修です。

これまでに3名の看護師が看護学研究科・医学部看護学科の臨床特任講師として教育活動に携わり、直接学生と接することで、「今まで見えていなかった学生像を理解できた」、「自身が講師を務めて得た内容を病棟スタッフと共有し、今後の学生指導の充実、実習・臨床環境の整備に繋げたい」など、学生実習指導や新人スタッフの育成について新しい視野を持つことができ、大変有意義な取り組みとなりました。



報告会での発表の様子

### 平成28年度の臨床特任講師からひとこと

8ヶ月間という短い期間でしたが、臨床特任講師として教育現場に携わることで、病院スタッフとして実習指導をしていた時とは違う学生像を知ることができました。また、学生指導というのは一方的に教えるのではなく、各学生の学びたい事を把握し、個性にあわせた関わり方が大切だと学びました。これらの経験を今後の新人教育に活かしていきたいです。

平田 真由美 さん



臨床特任講師として直接学生と関わる中で、学生は臨地実習の場では想像以上に緊張しており、本来持っている能力を十分発揮出来ていないことが分かりました。今回の経験を活かし、今後も大学の先生方と連携することで、学生が能力を發揮し「看護が面白い」と感じることが出来る実習環境を整えていきたいと思っています。

梶谷 紀久子 さん



## 法学部が中国・福州大学法学院との交流プログラムを実施

平成29年3月4日(土)、中国の福州大学法学院の教員と学生が日本を訪れ、「震災と法」をテーマに本学法学部と交流しました。本プログラムは、国立研究開発法人科学技術振興機構「日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン)」に採択されたものです。防災・救援・復旧・復興という震災対策の各段階につき、日中両国のそれぞれが展開する施策にどのような特徴と問題点があり、現時点における科学技術を前提とした場合にそれら問題点を克服するために考えられるヴィ

ジョンを検討することを目的としています。

本学における合同研究会では、日中両国の大規模災害に関する事例報告、中国の災害防止の仕組みや関連する法律制度とその問題点について日本と対比しながらの講義がなされるなど、日中双方の経験を話し合う有意義な機会となりました。その他にも阪神淡路大震災の被災地や「人と防災未来センター」への訪問、大阪府内大手企業の防災への取り組み見学など、1週間にわたり交流プログラムが実施されました。



合同研究会の会場(法学部棟)



学長表敬訪問時の記念写真

今回は、平成28年11月に福州大学と学術交流協定を締結して初めての本格的な交流の機会となりました。防災に関する法的課題について、日中の比較研究を行う貴重な場となっただけでなく、神戸や淡路島での震災の実態を見ていただくなど、双方にとって有益なプログラムになったと思います。これを契機に多様な法分野での交流を行い、学生の交流や受入にも広げていければと思います。

法学研究科 教授 桐山孝信





RESEARCHERS

文学研究科 哲学歴史学専攻 上野 雅由樹 准教授

上野准教授の専門は歴史学。「多文化社会」の最も顕著な例である「オスマン帝国」の歴史に焦点を当て、宗教宗派のみならず、民族的・言語的にも多種多様な人々から構成された社会がいかんとして機能したのかについて研究しています。

人々を分ける基準として民族や身分よりも宗教に重点が置かれていたオスマン帝国では、ムスリム優位の原則のもと、人口の3分の1を占めたキリスト教徒やユダヤ教徒が、不平等の受容と引き換えに宗教的自由を認められていました。しかし、オスマン帝国は19世紀に近代国家化する過程において、ムスリムと非ムスリムの平等を約束するとともに非ムスリムの宗教的自由を「特権」として保障し、多文化的側面を維持する道を選びま

す。結局、1922年にオスマン帝国は滅亡してしまうのですが、帝国の特徴である多文化的側面を維持しつつ、国民国家の統合原理を取り入れようとしたオスマン帝国の試みは、非常に興味深い事例だそうです。

4月に山川出版社から刊行された共著書『世界史／いま、ここから』では一般向け教養書として西アジア・中東地域の通史に挑戦した上野准教授。日本で「多文化共生」を想像することは難しいですが、現代社会では人口の流動性が高まり、異なる文化的背景を有する人々との接触が増えていきます。こうしたなか、歴史を学び多文化共生社会に対する想像力を育むのは意義があることで、そのきっかけを多くの人に提供できればと語ります。



◆アナザーサイド

上野准教授の息抜きは海外のテレビドラマを見ること。研究の成り行きで、トルコ作品を見る人が多いそうです(全てトルコ語!)。毎回2時間以上の長さで無駄なシーンが多く、展開も遅いのだとか。日本の作品と違って、「みんな無職?」と思うほど、登場人物の働くシーンが少ないそうで、「文化の違いですかね」と笑みを浮かべる上野准教授でした。

生活科学研究科 早見 直美 講師

「人を変える実感のある研究がしたい」と、栄養教育・健康教育に携わる早見講師。特に思春期の食生活は、自分の身体に対するボディイメージや、人間関係・メディアなどの社会的な影響を大きく受けます。頭ではバランス良くしっかり食べるべきだと理解していても、「太っていると思われたくない」、「痩せていることが健康」といった思い込みから、健康的な食生活を維持できなくなる子どもが増えるそう。早見講師はそういった状況を「予防する」という観点で、主に東大阪市内の中学校と連携して栄養教育の実践研究を行っています。

栄養教育で大切にしているのは、知識を詰め込むだけの教育ではなく、面白いと感じ、やって

みようと思ってもらうこと。まずは自分の食生活を見直し、主食・主菜・副菜のバランスは良いか、野菜が不足していないか、などを確認。見つけた問題について、ブレインストーミングなどを取り入れたグループ学習で「どうすれば改善できるか」を検討します。「自分で食生活をコントロールできる」という感覚を持ってもらうことで、楽しみながら実践してもらえるように心掛けているそうです。

「可能性に溢れる元気な中学生たちが不健康な食生活を送っているのはもったいない。食育はそれまでに積み上げてきた土台も大事。今後は幼稚園・小学校・中学校との連携を目指し、一貫した栄養教育を大阪中に普及させていきたい!」と夢を持つ早見講師でした。



◆アナザーサイド

小学校3年生から柔道一筋で、なんとご主人も元柔道日本一という早見講師。シドニー大学に留学した際、友達を作ろうと柔道部に入ったところ、「黒帯の日本人がやってきた!」とオリンピック選手のような扱いを受けたという苦い思い出も。ここ数年は忙しくブランクがあるため、市大柔道部で練習相手になってくれる女子部員を募集中(初心者・マネージャーも歓迎)だそうです!

都市健康・スポーツ研究センター 岡崎 和伸 准教授

主に全学共通科目の健康・スポーツ科学の授業を担当している岡崎准教授。学生時代は中長距離の陸上選手だったそうで、「どうすればもっと速く走れるようになるのか」と考えたことがきっかけで研究者の道へ。専門は環境生理学で、現在は運動トレーニングや暑熱環境に体が適応することで起こる、循環や体温調節機能改善のメカニズム(特に血液量や心臓の機能や形態、加齢の影響など)について研究しています。近年、温暖化などの影響で気温が上昇し、熱中症にかかる人が増加していますが、どうすればこのような環境の変化に体が適応し、熱中症を防ぐことができるかといったメカニズムの解明も研究の一部です。

また、岡崎准教授は3年前に日本陸上競技連盟の科学委員に就任し、昨年ブラジルで開催されたリオオリンピックにも同行。マラソンと競歩の日本代表選手のパフォーマンスを効率良く引き出す方法について科学的な側面から提言したそうです。より効果を出すためには何が重要で、どのような練習方法を取り入れるべきかを選手やコーチに伝える際、現場と裏方の意識相違が生じ、対応に苦労することもあるそうですが、「今年ロンドンで行われる世界陸上と2020年に開催予定の東京オリンピックで日本の選手がメダルを獲得できるよう、引き続き研究を進めていきたい」と意欲的に語ってくれました。



◆アナザーサイド

学内外の業務で多忙な日々を送っている岡崎准教授。悩みの種は、週末も家族サービスの時間が取れないこと。そこで、朝は少し早く起きて子ども達と近所の公園へ。キャッチボールなどでウォーミングアップをした後に、子どもの走力アップのトレーニングをしています。まだ目に見える結果は出ていないそうですが、「今後の成長に期待しています!」と笑顔の岡崎准教授でした。



### 平成28年度「白衣授与式(4年生対象)」を開催



式典終了後の記念撮影

平成29年2月4日(土)、阿倍野キャンパス医学部学舎において、平成28年度「白衣授与式」を開催。学生たちは医学部のロゴマーク入りの真新しい白衣に袖を通しました。学生代表の増田涼甫さんりょうすけによる宣誓では、「積極的に学ぶ姿勢を忘れることなく、これからも複雑化していく医学に生涯をかけて取り組んでいきたい」と熱い想いが語られました。

### 阪堺電車に「MedCity21」ラッピング電車が登場

医学部附属病院 先端予防医療部附属クリニック MedCity21 は、阪堺電車の車両ボディに広告を掲載。このラッピング電車は、MedCity21の拠点である「あべのハルカス」が位置する阿倍野筋をメインとした天王寺駅-浜寺駅間の『上町線』と、恵美須町-我孫子道間の『阪堺線』の両線を、平成30年末までの2年間走行します。

MedCity21のラッピング電車



### 白馬セミナーハウスへの留学生研修旅行を実施



白馬セミナーハウス前での記念撮影

平成29年3月3日(金)・4日(土)、留学生の研修旅行を実施。17名の留学生が白馬セミナーハウス(長野県北安曇郡白馬村)を訪れました。両日とも天候に恵まれ、白馬の雪景色やスキーを楽しむとともに、国宝に指定されている松本城も見学し、充実した研修旅行となりました。

### ソウル国立大学附属ボラメ病院医師団が医学部を訪問

平成29年3月10日(金)、医学部と国際交流協定を結ぶ韓国のソウル国立大学附属ボラメ病院の医師団が医学部附属病院を訪問。臨床分野などについてのディスカッションを行った後、脳神経外科病棟などの施設見学や「MedCity21」の視察を行い、医学交流を深めました。

視察時の集合写真



### 人間国宝 竹本住太夫氏に特別客員教授の称号授与



荒川学長から称号を授与



平成29年3月16日(木)、杉本キャンパスにおいて開催された第2回学長記者懇談会で、人間国宝(文楽)である七世 竹本住太夫氏に特別客員教授の称号を授与。今後、本学の教育などに関してご助言をいただきます。

### 平成28年度卒業式・学位記授与式を挙行

平成29年3月21日(火)、大阪城ホールにおいて平成28年度卒業式・学位記授与式を挙行。学部を卒業し、学士の学位を授与された者が1,435名、大学院を修了し、修士の学位を授与された者が513名、博士の学位を授与された者が81名、法務博士の学位を授与された者が13名、合計2,042名に学位記が授与されました。

動画は  
こちらから



## 市大PR動画「I♡OCU」が完成



撮影の様子

平成29年4月3日(月)より、市大PR動画「I♡OCU」を公式YouTubeチャンネルで公開中。市大の特色ある場所で、さまざまな学部の学生が登場しています。市大愛があふれる動画に仕上がっていますのでぜひご覧ください!

動画はこちらから



## 平成29年度 学部・大学院入学式を挙行

平成29年4月5日(水)、大阪市中央体育館にて「平成29年度 学部・大学院入学式」を挙行。荒川哲男学長のお祝いのことばの後、吉村洋文大阪市長、大阪市立大学教育後援会会長から祝辞をいただきました。今年度は、商学部の筒井有生さんと文学研究科の川崎真奈さんが代表して宣誓を行いました。



動画はこちらから



## 「枝垂れ桜のライトアップ」を開催



幻想的に輝く  
枝垂れ桜

平成29年4月1日(土)～4月5日(水)の期間中、理学部附属植物園において「枝垂れ桜のライトアップ」を開催し、約500名の方にご来場いただきました。幻想的にライトアップされ、夜空に美しく輝く満開の枝垂れ桜のもと、和太鼓や津軽三味線の演奏が彩りを添えていました。

植物園  
WEBサイト



## プロボクサー 坂本真宏さん再起戦で勝利!

平成29年4月9日(日)、工学研究科修士課程機械物理系専攻2年生でプロボクサーでもある坂本真宏さん(六島ジム所属)が、住吉区民センターで開催された「You will be the champion7」のスーパーフライ級8回戦に出場。再起戦となる試合でしたが1ラウンドKOで見事勝利を収めました。

試合中の坂本選手(左)



勝利後の  
ガッツポーズ

## 医学部がATRIと相互協力協定を締結



調印後の  
記念撮影

平成29年4月11日(火)に、医学部が南カリフォルニア大学 ATRI (Alzheimer's Therapeutic Research Institute) と認知症医療推進のための基盤整備に関する相互協力協定を締結。本協定は日本国内の認知症臨床研究支援事業「AMED研究事業」を展開する大阪市立大学と米国で認知症研究をリードするATRIが、認知症に関するデータやノウハウを共有し、効率的な臨床研究の推進を目的としたものです。

## 市大授業～市大に1日体験入学しませんか!?～を開催

平成29年4月29日(土・祝)に杉本キャンパスにおいて、高校生や保護者の方などを対象とした「市大授業」を開催。文学部や理学部の教員による模擬講義や、現役文学部学生とのフリートークを開催し、大学案内冊子や受験情報誌からは伝わりにくい実際のキャンパスの雰囲気を経験していただきました。



文学部学生とのフリートーク

理学部(化学)の模擬講義

### 大阪市立大学夢基金のお願い

前号でもご案内させていただきましたが、平成29年1月のご寄附より、寄附者の意向を反映できるよう、下記の6項目より寄附の使い道(使途)を選択していただけるようになりました。

- 1 大学の発展のために(大学の基盤となる教育・研究に係る整備、充実のための事業費)
- 2 課外活動施設の充実のために
- 3 全天候型グラウンドの整備のために
- 4 グローバル人材の養成のために
- 5 社会連携のために
- 6 医療・保健推進のために

また、ふるさと納税を活用した「大阪市ふるさと寄附金」についても募集をしております。市立大学振興関係を選択していただくことにより、大阪市立大学の教育・研究・地域貢献の充実のために活用させていただきます。

各事業を円滑に実施するためにも、みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。



詳しくは

[検索](#)

問い合わせ先 大学サポーター交流室 TEL: 06-6605-3415 E-mail: yumekikin@ado.osaka-cu.ac.jp

### 市大卒業生の今 ~OB・OG訪問~

## 自然科学的思考に 目覚めた市大時代

あつき  
東山 篤規さん (立命館大学 文学研究科 教授)

「市大での思い出の風景ですか…阪和線の、赤茶けた線路のイメージですかね。当時は学園紛争の真っただ中で、授業中に突然、人が入ってきて授業にならないことがよくありました。こういう行動を見ていて思ったのですが、延々と主張や信念をぶつけることでは解決は得られない。ましてや暴力的な紛争などおかしいと。データをもとに科学的に学問や議論をすることが大切だと思ふようになりました。」

兵庫県出身、1970年文学部入学。小説家になりたいという夢を持ちながらも心理学実験の面白さに惹かれ、気付けば研究の道に。「股のぞき」をすることにより直立姿勢が崩れると、距離の情報が無効化されるため見かけの奥行き感が薄れ、明瞭性・鮮明性が高まることを検証したユニークな研究成果が評価され、2016年のイグ・ノーベル賞を受賞。各種メディアでも大きく取り上げられました。



東山教授の研究室にて

「僕が文学部に入ったころは上野雄宏先生や太城敬良先生など知覚の研究者が複数おられて、実験の授業が多かったんです。中でもネズミを使った『迷路学習』の実験が印象的でした。エサに到着する時間を計るんですが、学習結果はちゃんとデータに出るんですよ。小説の書き方は自己流で学べるけど、こういう自然科学的なアプローチは大学でしか学べないことで、とても新鮮に感じました。」

市大は自由な気風に溢れていて、とにかく勉強が楽しかったと回顧する東山教授。ハーバード大学で昨年10月に行われたイグ・ノーベル賞の授賞式でもらったという、「わら半紙(ご本人談)のペラペラの賞状」「とても持ち帰りにくい時計※」と、賞金の「10兆ジンバブエ・ドル紙幣」を見せていただきました。さすが、型破りですね。

※長針と短針はそれぞれ砂時計になっており、左上の、EとIの間が6秒になっています。

# OCU INFORMATION

## 就職支援室からのお知らせ

### 2019年度卒業予定者対象の就職ガイダンスがスタート!

「働く」とはどういうことなのか。社会に求められる資質は? 将来に向けて今からやるべきことは? このガイダンスに参加して、自分の進路やキャリアについて考えてみましょう!

今後の就職活動スケジュールや就職支援室の進路就職サポートについてもお話しします。

#### ■第1回就職ガイダンス「就職活動の基礎知識」

【日時】6月5日(月)~9日(金) 16:30~18:00

【場所】高原記念館

※毎回同じ内容を実施します。都合の良い日に参加してください。

### 2018年度卒業予定者対象の就職支援イベント

#### ■第10回就職ガイダンス「フォローアップガイダンス」

【日時】6月16日(金) 16:30~18:00

【場所】高原記念館

【内容】これまでの就職ガイダンスの振り返りと、これからの就職活動の進め方について

#### ■学内求人説明会

入退室自由・予約不要

市大生を採用したい!と採用意欲旺盛な企業が市大に集結! 多くの企業をまわり、求人情報をGETしよう!

【日時】6月19日(月)~30日(金) 12:00~17:00 ※土・日曜を除く

【場所】高原記念館 【参加企業】1日15社を予定

### 全学年対象「労働法制セミナー」開催

【日時】6月15日(木) 16:30~17:30

【場所】高原記念館

※上記イベントの詳細は、全学ポータルサイト・本学ホームページ・就職支援室前の掲示等でお知らせします。

オリジナルグッズのご紹介

市大グッズ

検索

### 新しい市大グッズが仲間入り NEW!

杉本キャンパス生協「シェリー」、阿倍野キャンパス生協「リンク」にて絶賛発売中!



グリーンウッド・モイスチャライザー  
(自然気化式ペーパー加湿器)



ゴルフボール



ゴルフクリップ & マーカー  
Color : Gold / Silver



しおり (縦25mm×横60mm)  
Color : Gold / Silver

パーカー

Color : Black×Red / Navy×Yellow

Size : S・M・L・XL



- グリーンウッド・モイスチャライザー … ¥1,980  
(自然気化式ペーパー加湿器)
- パーカー …… ¥3,980
- ゴルフボール 1ダース …… ¥2,980  
1スリーブ …… ¥800
- ゴルフクリップ & マーカー …… ¥1,690
- しおり(真鍮製) シルバー …… ¥700  
ゴールド …… ¥800

※全て税込価格

今後も新しいグッズを開発予定です。お楽しみに。

大阪市立大学広報誌

**CITY**  
×  
**UNIVERSITY** vol.24

発行：公立大学法人 大阪市立大学

企画・編集：法人運営本部 広報室

デザイン協力：desk

発行日：2017年5月

本誌に関するお問い合わせ・ご意見・ご感想は

大阪市立大学 法人運営本部 広報室

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

e-mail : t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp

本誌に掲載の写真および原稿の無断転用を禁じます

グローバルな都市研究・教育拠点



**大阪市立大学**  
OSAKA CITY UNIVERSITY

杉本キャンパス

商・経・法・文・理・工・生活科学 各学部・各大学院研究科  
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

阿倍野キャンパス

医学部・大学院医学研究科・大学院看護学研究科・医学部附属病院  
〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3

梅田サテライト

大学院創造都市研究科・文化交流センター  
〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階

<http://www.osaka-cu.ac.jp>